

技能実習・特定技能を対象に日本語講習会開催

～日本語能力試験の合格を目指して～



目的：

日本語能力の上達、日本語能力試験の合格を目指して日本語講習会に参加。漁業はチームワークで作業をする場面が多く、普段より日本人船員と密にコミュニケーションを取ることが求められる。また、危険な作業時に受けたとっさの声掛けを瞬時に理解できることが重要となる。

実施漁協・団体：

愛媛県漁協、魚津漁協、石巻漁業実習協議会、石川県漁協、北浦漁協

愛媛県漁業協同組合



技能実習生1，2年生を対象に月1回（休漁日）、外部講師を招いて勉強会を実施。勉強会のはじめにはフルーツバスケット（日本語を使った椅子取りゲーム）や連想ゲームなどの遊びを取り入れることで日本語への抵抗感を下げ、勉強に取り組みやすい環境づくりを工夫し、各自の勉強意欲を促した。中には漁の合間にも勉強できるようにスマホへ試験対策アプリを入れている人も。

1年生は日本語の上達を目標に、2年生は日本語能力試験N4合格を目指して勉強に取り組んだ。



魚津漁業協同組合

💡 技能実習生、特定技能生を対象に月2回程度の日本語勉強会を実施。講師として漁協職員3名（うち、ネイティブ1名を含む）の他、受入れ先の船主の協力も得ながら指導した。主に日本語テキストを活用しながら座学勉強に取り組み、12月に行われた日本語能力試験N3,N4を受験し、複数の方が合格した。



石巻漁業実習協議会

💡 特定技能生を対象に月3回程度、インドネシア人講師4名によるオンライン日本語勉強会を実施。それぞれの宿舎からオンラインで毎回約30名程度が参加した。日本語テキストを中心に単語帳も活用しながら日本語の理解を進めていった。12月に行われた日本語能力試験N4には複数の方が合格した。



石川県漁業協同組合

💡 技能実習生、特定技能生を対象に現地訪問勉強会、オンライン勉強会を実施。日本語能力試験の合格を目指した現地訪問勉強会と並行して、日常的な日本語能力の向上及び勉強できる習慣を目的としたオンライン勉強会を実施し、全体的な日本語能力の向上を図った。12月に行われた日本語能力試験N3,N4には複数の方が合格した。



北浦漁業協同組合

💡 技能実習生、特定技能生を対象に2月に日本語講習会を実施。講師はJITCO主催の日本語講師セミナーに参加した漁協職員が務めた。日本語テキストはN3相当の内容を使用。特定技能生も多く在籍していることから、日本語能力試験N3合格を目指して勉強に取り組むように支援・指導した。

